

大幅値上げで昨年度政令市20市で一番高くなった静岡市の国保料

「高すぎる！引き下げて！」は『わがまま』？

6月静岡市議会で自民党議員の国民健康保険についての質問にたいして田辺市長は、「(国民健康保険の)キーワードは相互扶助です。お互いに助け合うことを優先するという思想に貫かれてこの制度は存続しております。言いかえれば、わがままでは言わないということであります。」と答弁しました。どう思われますか？

●国民健康保険は社会保障です。

国民健康保険はもともと他の被用者保険に加入できない人はすべて国保に加入し国民皆保険制度を下支えする役割を果たしてきました。

国保は負担能力が高くない人が集まる仕組みになっているため国庫負担がそれなりに投入しないと維持することができません。

ところが国庫負担が削減され国保の総収入に占める国庫支出金の割合が1980年代の約50%から2008年の約25%に減らされました。

国が負担すべきところを国保加入者と自治体に払わされてきた結果、国保料が高くなってきました。国保加入者がお互いに助け合う水準をはるかに超え払いたくても払えない状況になっています。国がきちんと責任をもつことが必要です。

国保法第一条でも「国保は社会保障」と明記しています。その精神に立ちかえることが求められます。

また、一昨年的大幅値上げで国保財政は大幅黒字。「本当に値上げは必要だったの？」の声も上がっています。

- 国保加入者の実態は・・・国保料が高すぎて払えない：28000世帯（24.2%）が滞納世帯
- この30年間で1人当たり保険料は2倍！



●私たちは国保加入者のだれもが安心して医療にかかれるようにするために国保料の引下げと国保制度の改善を求めます。

●私たちは高齢者の肺炎球菌ワクチンの公費助成を求めています。すでに静岡県35自治体中28自治体でワクチンへの助成を行っています。

署名にご協力をお願いします

静岡市医療と福祉をよくする会（連絡先・健康友の会 271-0250）葵区田町5-90
（主な加盟団体：静岡民商・年金者組合静岡支部・日本共産党静岡地区委員会・生活と健康を守る会静岡支部・新日本婦人の会静岡支部・民医連・静岡健康友の会）